

カンボジア と

松戸市 の交流



2002年

不用となった
小・中学校の机・いすを
国の「リサイクル草の根無償制度」
を活用し、カンボジア王国へ寄贈

以後5年間にわたり5,114セットの机・いすを贈りました



松戸市から贈った机・いすで学ぶ子どもたち

2009年
2月

机・いすの寄贈に対する感謝式典出席のため、
同国を市長が訪問

かぼちゃがカンボジアの国名に由来することから、日本
園芸生産研究所で開発された「らいふく」という西洋かぼちゃの種を持
参し、同国のカンボジア和かぼちゃの種と交換しました

2009年
4月

カンボジアのかぼちゃを通じ同国への
関心を高めてもらうため
「食育で国際交流」と題し、市役所前の

キッチンガーデンに、カンボジアかぼちゃの種をまく。
同時に「時を越えたかぼちゃ募金」をスタート



キッチンガーデンで育った
カンボジアかぼちゃ



集まった募金でカンボジアの子どもたちのため、
学校の図書室を整備、「松戸かぼちゃ文庫」と
名付けられる。

カンボジア王国内の各学校に
普及させていく予定です。

かぼちゃを使って 支援を行います

「国際交流かぼちゃ」が誕生

西洋かぼちゃ「らいふく」と、和かぼちゃの「カン
ボジアかぼちゃ」は交配できませんでしたが、日本
園芸生産研究所の協力で、市場から姿を消してい
た松戸産和かぼちゃ「松戸白」が53年ぶりに復活
しました。

「松戸白」と「カンボジアかぼちゃ」を交配させ
た「国際交流かぼちゃ」が誕生しました。市では、
今後、かぼちゃを使った支援を行っ
ていきます。

松戸市出身の宇宙飛行士山崎
直子さんとともに宇宙を旅してきた「松戸白」と「国際交流かぼちゃ」
の種を増やし、栽培を希望する全
国の小・中学校の教材として育ててもらうなど、カ
ンボジア王国の子どもたちを支援していきます。



カンボジア王国の 子どもたちにもたたちに支援を



松戸市とカンボジア王国は、2002年に市内の小・中学校
の不用となった机・いすを同国の子どもたちに寄贈したことを
きっかけに、交流が始まりました。
カンボジア王国は、インドシナ半島に位置する東南アジアの
国で、約千四百万の人たちが暮らしていますが、学校の設備な
どの環境が整っていない現状があります。市では、国際平和を
願うとともに、カンボジアの子どもたちを支援するため、「松
戸白かぼちゃ復活支援プロジェクト」による募金活動を行って
います。皆さんのご協力をお願いします。
国際交流担当室 ☎ 366・7310

講演会

今、私たちにできること

～カンボジア王国と松戸市の交流を通して～

日時 5月21日(金) 午後0時30分～4時10分 会場 森のホール21 費用 無料

☎電話で国際交流担当室 ☎ 366-7310へ ※手話・要約筆記あり。

第1部 午後0時40分～1時10分

「カンボジア王国と松戸市の交流」
稔台小学校6年生とプレイベックロン小学校との交流発表

第2部 午後1時15分～3時5分

- 午後1時15分～1時55分 「スポーツを通じた国際交流」
講師…ハート・オブ・ゴールド代表理事・有森裕子氏
- 午後1時55分～2時35分 「カンボジアにおける教育の現状と課題」
講師…カンボジア国際教育支援基金理事長・大久保秀夫氏
- 午後2時35分～3時5分 「カンボジアの国際情勢」
講師…カンボジア国際教育支援基金副理事長・篠原勝弘氏

第3部 午後3時20分～4時10分 「パネルディスカッション」

コーディネーター…カンボジア国際教育支援基金理事長・大久保秀夫氏
パネリスト…ハート・オブ・ゴールド代表理事・有森裕子氏、
カンボジア国際教育支援基金副理事長・篠原勝弘氏、松戸市長・川井敏久



有森裕子氏



大久保秀夫氏



篠原勝弘氏